



わたなべ よしまさ
渡辺 佳正
(超党派虹の会)

産業振興
環境



ホルムズショックから市民のくらしをどう守るか

問 原油高騰、ナフサ不足が中小事業者に与えている影響をどう把握し、市としての対応を考えているか。

部長 建設業、製造業、農業など幅広い業種に影響が出ている。関係団体との意見交換会を必要に応じて開催し、今の状況が長期化するようであれば、具体的・有効な支援策を検討していく。

副市長 市の中小企業振興条例に基づいていろいろな施策をやっているという点で、当市は他の自治体より進んでいる。

市長 国も積極財政で何とかしようと努力しているから、それほど深刻に考えていない。何とかかなるだろう。

意見 「何とかかなるだろう」という期待感はあるが、もっと危機感を持って取り組んでいただきたい。

公園などの樹木の定期的・適切な管理を

問 市内の公園や学校によっては、樹木を大量伐採して木陰がなくなっているところがある一方で、高木が繁茂して眺望が阻害されているところがある。高木の維持管理については、樹木専門の造園組合などに一括委託したらどうか。

部長 樹木の伐採は、専門家に相談しながら進めている。今後の植樹は、密植を避け、中低木中心に進めていく。



▲登山道沿いの桜がすべて伐採された城山公園



▲芝生広場からローラー滑り台も展望台も見えない白尾山公園



なかの けんたろう
中野 健太郎
(明和)

企画
財政
産業振興



支える側が減る時代における自治体経営

問 2040年に向けて労働人口は大幅に減少し、民生費は増大していく。保健福祉部以外への影響や、シナリオベースの長期的な見通しは全ての部署でどのように共有されているのか。

部長 総合計画の策定段階でも全庁に話を何度もしている。何をどう変えていくかも重要になるので、引き続きそういった意識でいきたい。

問 人口減少と高齢化が加速する2040年頃を見据えて、本市の財政構造がどのように変化するのか分析しているのか。

部長 現在の市民ニーズに適切に対応しながら、将来に過度な負担を残さないよう取り組むことを意識している。市立病院は将来のリニューアル計画に向けて、今年度中に基金を積み立てたいと内部で検討している。そういうことも含

めて将来を見据えた財政運営に努めている。

観光×景観×マナー。分煙で考える観光地マネジメント

問 たばこを吸う人・吸わない人双方に配慮した環境整備を進めることについて市長の考えは。

市長 積極的に喫煙所をつくる。市としては前向きに中心市街地を中心につけていくということで進めていきたい。

意見 外国の方向けに喫煙所に多言語の観光案内看板を設置すれば、歩きやすい場所だと感じてもらえる一つのアイデアになるのでは。

